



2026.1.30

北高SSHニュース

Vol. 377

熊本スーパーハイスクール(KSH)全体発表会 『学びの祭典』に参加



図1 参加者(中)と発表の様子(左右)

12月20日(土)にグランメッセ熊本で『学びの祭典』が開催されました。熊本県立高校全50校が参加し、ステージ発表やポスター発表、学校での取組み紹介のほか連携大学・

企業の展示や科学展優秀作品の展示が行われました。本校からは1、2年生有志28名が参加しました(図1)。来場された中学生や保護者の方に北高の魅力を一生懸命に伝えて

いました。今までの課題研究発表で培ったプレゼンテーションスキルを駆使し、ARⅡやGRⅡの研究内容も分かりやすく伝える姿が印象的でした。

第15回熊本北高杯 オンライン中学生 科学研究発表会開催!

12月24日(水)にオンライン中学生科学研究発表会を行いました(図2)。身近な疑問から始まる興味深い科学研究ばかりで、本校職員審査員との質疑応答も的確で、研究の成果を十分に感じることができました。また、本校自然科学部化学班も発表を行い、参加した中学生から鋭い質問があり、生徒たちにも刺激になったようです。



図2 オンライン発表会の様子

【最優秀賞】

- ・水のそこにある1mmの層と台風の関係
- ・物質が液体を吸収する量の研究
～毛糸、紙、布が液体を吸収する量～

【優秀賞】

- ・様々な気象条件がカブトムシに与える影響
 - ・金剛地区の土の性質・生物と作物との関係
～令和7年度の研究からわかったこと～
 - ・オジギソウの生態2
- 〈参加校〉北部中学校、菊陽中学校、西合志南中学校、八代市立第六中学校(順不同)

熊本県科学展 熊日ジュニア賞受賞!



図3 受賞した物理分野のメンバー

自然科学部物理分野は、「光の拡散による光合成効率化の可能性」の研究で、熊本県科学展に出展し、熊日ジュニア賞を受賞しました。農業用シートの反射特性を調べる中で光合成効率に関心が広がったことをきっかけに研究を進め、内容は物理分野にとどまらず、農学・生物分野にも関わる分野横断的なものとなりました。分野の枠にとらわれることなく、自らの興味を起点に調査・実験を重ね、主体的に研究を進めてきた結果、見事受賞することができました。

第8回グローバルサイエンティストアワード”夢の翼” 株式会社ソラシドエア賞受賞!

自然科学部生物班は、第8回グローバルサイエンティストアワード”夢の翼”で発表を行い、「株式会社ソラシドエア賞」を受賞しました。昨年度から生物班で取り組んでいる保留走性について、「生物の保留走性～北高にいる4種の生物の比較～」というテーマでオンライン発表を行いました。海外・全国の学校の発表も学ぶことができ、得るものも多い発表会でした。今後も様々な生物の保留走性について解明していきたいと考えています。



図4 オンライン発表の様子

Kumakita Science Cafe

1月21日(水)の主体的な活動の時間に、株式会社SummerTimeStudio 代表取締役社長の弘津健康様ならびにアーカスコミュニティ部門の劉愷柔様をお招きして、「仮想空間の歴史と進化の道筋:没入感の本質」と題し、お話をいただきました(図5)。VR・AR・MRの違いや業界全体の動向について理解を深めることができました。特に、没入感を高めるための技術に関するお話を聞き入っていました。課題に対して探究学習を通じて疑問を解決していくことや、自ら見て、触れて、感じ、考えた経験が、ゲーム制作におけるリアリティにつながるとお話しされ、生徒たちは将来の進路や大学での学びについて考える貴重な機会となりました。



図5 サイエンスカフェの様子